

## 活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	森林環境教育「めざせ、火使いの達人！」		
開催日時	2023年 2月19日(日) 10時 ~12時		
開催場所	船橋県民の森(船橋市)	一般参加者	22名

### 活動概要

最初は「森の教室」での活動です。森で落ちている中から気に入った枝を探して、ペアになってその枝の気に入った点を発表しあいます。次に、この枝のいろいろな使い道を考えます。「箸、家が作れる・燃やす！」そうです、木は燃料になりますね。今は技術が発達して、日常生活に火を使っている感覚があまりありませんが、昔は木や炭に火をつけて、料理や風呂、照明、暖房に使っていました。そして火起こし方法は時代とともに変わっていきました。



マッチ

80年前の昭和時代は「マッチ」、300年前の江戸時代は「火打石と火打金」カチカチ山のウサギがやっていたね。ここで本物の火打石(メノウ)と火打金を出して勢いよくこすってみると…アッ火花がでた!!この火花を火口に移して火を起こすんだ。5000年前の縄文時代は木と木をこすり合わせて熱を出し(火種)これを火口に移して火を起こしていたのだよ。

ではBBQ場で、「マッチ」、現代版の火打石火打金の「ファイヤースターター」、そして2人ペアになってやる「ひもぎり式」、昔の人たちの3つの火起こしに挑戦してみましょう!



ファイヤースターター



ひもぎり



マッチは何とか火がつき、ファイヤースターターは何度も火花を散らせてやっと火がつき、ひもぎりはなかなか煙が出ず、煙が出ても火口に移して炎にすることができません。ひもぎりの火起こし成功は9家族中2家族でした。時間が来て片づけをしながら、焼きマッシュマロを皆で食べました。感想は「楽しかった」「難しかった」「またチャレンジしたい」と表情はやり切った満足感にあふれていました。



F I C 講師 羽根 敏子